



政務活動報告書

活動事項	コロナ禍及びアフターコロナに向けた関西圏における情報発信等の取組についての調査
活動年月日	令和4年6月24日(金)
場所	鳥取県関西本部、鳥取市関西事務所
活動の相手方	鳥取県関西本部 高務本部長、鳥取市関西事務所 林所長ほか
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b>            コロナ禍で海外はもとより国内においてもリモートワークの普及などにより現実の人流が滞っている中、仮想空間を含めた交流人口の拡大策、本県との関係が深い関西圏における情報発信等の取組について調査・確認し、今後の県施策への提言に役立てるため。</p> <p><b>【内容】</b>            関西圏からの本県への観光客誘致PRに対する取り組みや県産品の販路拡大状況やブランド化の現状と課題について、鳥取県関西本部長、鳥取市関西事務所長ほかから聴取し、鳥取市などの鳥取県東部及び兵庫県但馬地方の6市町で構成する麒麟のまち観光局が運営する情報発信拠点「麒麟のまち」の現状を視察調査し、今後の取組について意見交換を行った。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b>            関西本部における観光客誘致や交流人口の拡大への現状と課題、今後の取り組み方針、および本県産品の販路拡大策についての現状と課題及び情報発信等について実態に即して聴取でき、また、情報発信拠点の「麒麟のまち」の運営状況を実地で調査したことにより、関係人口増加に対する取り組みと観光業者を始めとした商工業者及び農林水産関係者への支援の参考になるとともに、県政へ提言を行う上でも参考になった。</p>
関連領収書番号	612

【様式例】

政務活動報告書

活動事項	鳥取港の利用促進・整備及び鳥取港を含む周辺社会インフラ利活用による県東・中部の発展策についての意見交換
活動年月日	令和4年7月28日(木)
場所	参議院議員会館 藤井一博事務所 参議院議員会館 舞立昇治事務所 参議院議員会館 青木一彦事務所 衆議院第2議員会館 石破茂事務所
活動の相手方	藤井一博 参議院議員 舞立昇治 参議院議員 佐々木弘行 青木一彦参議院議員秘書 瀬淵 石破茂衆議院議員公設第1秘書
目的・内容 ・結果等	<p>【目的及び内容】</p> <p>一昨年に20年ぶりに改訂された重要港湾鳥取港の港湾計画の着実な進捗を図り、鳥取港とその周辺に位置する鳥取砂丘コナン空港、鳥取道や山陰道及び山陰近畿自動車道とこれらを結節する予定のいわゆる南北線を活用した鳥取県東・中部の発展策について、県選出の国会議員等と意見交換を行った。</p> <p>【結果(成果)等】</p> <p>各国会議員等と意見交換する中で、鳥取港の整備促進は基より、鳥取港周辺のインフラの整備促進を促すことにより、本県東・中部圏域の一層の発展を図る必要性を実感し、今後も様々な方法でこの課題に取り組んでいかなければと考える。</p>
関連領収書番号	714~716

【様式例】

政務活動報告書

活動事項	中国電力三隅発電所現地調査及び意見交換
活動年月日	令和4年8月2日(火)
場所	島根県浜田市 中国電力三隅発電所
活動の相手方	河本 修 中国電力三隅発電所 所長 籾根 剛 中国電力常務執行役員兼鳥取支社長 ほか
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b>          地球温暖化対策として、電力供給においてもクリーンで安定的な発電を求められ、なおかつ資源が少ない我が国の現状から省エネルギー・省資源のエネルギー源を確保する必要に迫られている。          このような状況の中で中国電力が運転している最新鋭の火力発電所である三隅発電所の現地調査を実施し、担当者等と意見交換することにより今後のエネルギー供給への理解を深め、本県施策への提言に資する。</p> <p><b>【内容】</b>          三隅発電所の最新鋭の火力発電について現地を調査するとともに所長から事業等の実施状況及びその概要を聴取し、積極的な意見交換を行った。          事業の実施に至るまでの具体的な経過や、温暖化対策、燃料調達での課題と取り組みなど、今後の展望について意見交換を行った。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b>          本県においては、バイオマス発電を除いて本格的な火力発電所は存在しないが、地球温暖化対策を考える上でも、従来の火力発電所と異なり、様々な対策を施された凍雨発電所の内容を理解でき、今後の本県のエネルギー施策の参考になり、今後の議会質問等に反映させていきたい。</p>
関連領収書番号	801、802

政務活動報告書

活動事項	<p>1. コロナ禍での関西圏における情報発信等の取組についての調査 2. 今後の電力需要に対する対応についての意見交換</p>
活動年月日	<p>令和4年8月26日（金）～8月27日（土）</p>
場 所	<p>1. 鳥取県関西本部事務所 2. 中国電力株式会社 本社</p>
活動の相手方	<p>1. 鳥取県関西本部 観光・情報発信・販路開拓チーム 尾崎主幹 2. 中国電力 芦谷副社長、藪根常務執行役員兼鳥取支社長</p>
目的・内容 ・結果等	<p>1. 【目的】 新型コロナウイルス感染症の年初からの第六波の影響が徐々に減少し、県内への観光客の流入が回復基調にあったが、7月からの第七波の流行で、全国的な行動制限を行っていないにもかかわらず、再び、国内旅行者も減少しつつあり、県内観光業を始めとした関連事業者への影響は深刻なものになりつつある。 このため、本県との関係が深い関西圏において、このような状況を克服するための情報発信等の取組について調査・確認し、今後の県施策への提言に役立てるため。</p> <p>【内容】 第七波の流行を踏まえ、ウイズコロナは勿論のこと、アフターコロナを見据えた関西圏からの本県への観光客誘致PRに対する取り組みや県産品の販路拡大状況やブランド化の現状と課題について、鳥取県関西本部担当職員から聴取し、今後の取組について意見交換を行った。</p> <p>【結果（成果）等】 関西本部における観光客誘致の現状と課題、今後の取り組み方針、および本県産品の販路拡大策についての現状と課題及び情報発信等について実態に即して聴取でき、コロナ禍にあっても本県に行ってみたい、本県産物を消費したいと思えるような取り組みと観光業者を始めとした商工業者及び農林水産関係者への支援の参考になるとともに、県政へ提言を行う上でも参考になった。</p> <p>2. 【目的】 東日本大震災以降、中国電力管内の原子力発電所が操業停止しており、地球温暖化対策として、電力供給においてもクリーンで安定</p>

的な発電を求められ、なおかつ資源が少ない我が国の現状から省エネルギー・省資源のエネルギー源を確保する必要に迫られている。

このような状況の中で、先日、中国電力が運転している最新鋭の火力発電所である三隅発電所の現地調査を実施し、担当者等と意見交換した。

この意見交換を基に、中国電力株式会社の原子力事業本部長である芦谷副社長などと意見交換することにより、今後のエネルギー供給への理解を深め、本県施策への提言に役立てるため。

**【内容】**

中国電力(株)本社において、中国地方全域の送配電システムを集中管理する中央司令室を現地調査するとともに、芦谷代表取締役副社長、藪根笠見鳥取支社長と原子力発電を始め、最新式火力発電などの安定的な発電とともに、再生エネルギー発電などの現状と今後の見通し、および、これからの企業の方針、見通しについて聴取するとともに今後の企業の取組みと本県への関わりについて意見交換を行った

**【結果(成果)等】**

調査した中国電力(株)は、安全確保を大前提に、安定供給、経済性、環境への適合の同時達成を目指す観点から、原子力、火力、水力など、それぞれの発電方式にはメリット・デメリットがあるが、その特長を生かしながら、バランスのとれた電源構成の実現に取り組んでいることが窺えた。

火力発電を始め、今後の原子力発電所の再稼働、水力発電を中心とした再生エネルギー発電の現状と今後の可能性について意見交換でき、これからの県政へ提言を行う上でも参考になった。

関連領収書番号

811、813、816～819

【様式例】

政務活動報告書

活動事項	神戸大学公開記念講演会への参加
活動年月日	令和4年10月29日(土)
場 所	神戸大学出光佐三記念六甲台講堂
活動の相手方	旭化成株式会社 代表取締役会長 小堀 秀毅 氏
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】 日本を代表する企業の経営を推進してきた経験から、新たな価値の創造を目指し、イノベーションへの高い意欲を持った、卓越する“人材”の育成の重要性について、トップ経営者の見解を聴講し、鳥取県における人材育成について県政へ貢献する。</p> <p>【内容】 旭化成株式会社 会長 小堀秀毅氏の講演「サステナブルな経営・人生について」を聴講し、日本を代表する企業における持続的企業価値創造、それに伴う自身の生き方や人生観等について聴講した。</p> <p>【結果(成果)等】 日本を代表する企業のトップ経営者である小堀氏の講演は、ただ単に一企業における持続可能性について話しているのではなく、地域社会においても普遍的なテーマであり、少子高齢化が進んでいる本県における現状と克服すべき課題について再認識した。このことを少しでも県政の場で生かせるようにしたいと考える。</p>
関連領収書番号	1009、1010、1018、1019、1024

政務活動報告書

活動事項	脱コロナに向けての関西圏における情報発信等の取組についての調査
活動年月日	令和4年11月2日(水)、11月3日(木)
場所	11月2日(水)：鳥取県関西本部 11月3日(木)：長居公園
活動の相手方	11月2日(水)：鳥取県関西本部 尾崎主幹 11月3日(木)：MBS秋まつり PRブース県内出品者 ほか
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b> 脱コロナに向けて、本県との関係が深い関西圏における情報発信等の取組について担当部局である鳥取県関西本部で現状と今後の取り組みを聴取するとともに、3年ぶりに開催されたMBSラジオ秋まつりの現場における県内製品のPR状況を調査・確認し、今後の県施策への提言に役立てるため。</p> <p><b>【内容】</b> 関西圏における県産品の販路拡大状況やブランド化の現状と課題について、鳥取県関西本部の担当者から聴取し、今後の取組について意見交換を行った。 また、翌日には、3年ぶりに開催された関西の人気番組であるMBSラジオ秋まつりの会場を訪問し、PRブースにおける県内製品の宣伝、販売状況を確認した。</p> <p><b>【結果(成果)等】</b> 関西本部における本県産品の販路拡大策についての現状と課題及び情報発信等について実態に即して聴取でき、また、多くの地元関西人が集うイベント会場での関係者自らの千で、販売状況を確認でき、商工業者及び農林水産関係者への支援の参考になるとともに、県政へ提言を行う上でも参考になった。</p>
関連領収書番号	1101、1102



【様式例】

政務活動報告書

活動事項	<p>① 「蟹取県」アピールのための五輝星等のトップセールスへの参加</p> <p>② 松葉蟹等のブランド化促進についての意見交換</p>
活動年月日	<p>① 令和4年11月14日（月）</p> <p>② 11月15日（火）</p>
場 所	<p>① 11月14日（月）：東京都中央区銀座 「粹京」</p> <p>② 11月15日（火）：参議院議員会館</p>
活動の相手方	<p>① 平井鳥取県知事、中村俊介中村商店社長、メディア、トップブロガー等</p> <p>② 藤井一博参議院議員</p>
目的・内容 ・結果等	<p>【目的】</p> <p>全国に本県の特産物である「松葉がに」とりわけ最高級ブランドの「五輝星」の認知度を今以上に向上させ、特に首都圏での販売促進を図るため。</p> <p>【内容】</p> <p>① 平井県知事、地元仲買大手の中村俊介中村商店社長とともに、我が国の食の中心である銀座の一流割烹「粹京」を会場に、料理業界等媒体関係者を招聘し、複数の媒体に取り上げてもらうことで、首都圏の富裕層への鳥取県産ズワイガニ「松葉蟹」とりわけ「五輝星」の認知度向上を図った。</p> <p>② ①の結果を基に本県選出の藤井参議院議員と松葉蟹は基より、牛肉など県内産品のブランド化、販路拡大について意見交換を行った。</p> <p>③</p> <p>【結果（成果）等】</p> <p>蟹取県を標榜している本県にとって、鳥取港（賀露港）で水揚げされた松葉ガニ「五輝星」をメディアやトップブロガーに取り上げてもらい、各種媒体に掲載されることにより、一層の認知度向上が図られ、本県水産業はもとより、本県への来県を促すなど観光面にとっても振興の一助となったと思われる。</p>
関連領収書番号	1106、1119～1124

政務活動報告書

活動事項	アフターコロナに向けた企業誘致の取組についての調査
活動年月日	令和5年1月23日（月）
場 所	鳥取県関西本部、鳥取市関西事務所
活動の相手方	鳥取県関西本部 尾崎主幹、鳥取市関西事務所 林所長ほか
目的・内容 ・結果等	<p><b>【目的】</b>          コロナ禍で海外はもとより国内においてもリモートワークの普及などにより地方における企業誘致が促進される可能性が高くなると予想される。          このため、関西圏における企業誘致に関する情報発信等の取組について調査・確認し、今後の県施策への提言に役立てるため。</p> <p><b>【内容】</b>          関西圏からの本県への企業誘致に対する取り組みの現状と課題について、鳥取県関西本部担当者、鳥取市関西事務所長ほかから聴取し、今後の取組みについて意見交換を行った。</p> <p><b>【結果（成果）等】</b>          関西本部における本県への企業誘致や交流人口の拡大への現状と課題、今後の取り組み方針等について実態に即して聴取でき、県政へ提言を行う上でも参考になった。</p>
関連領収書番号	111